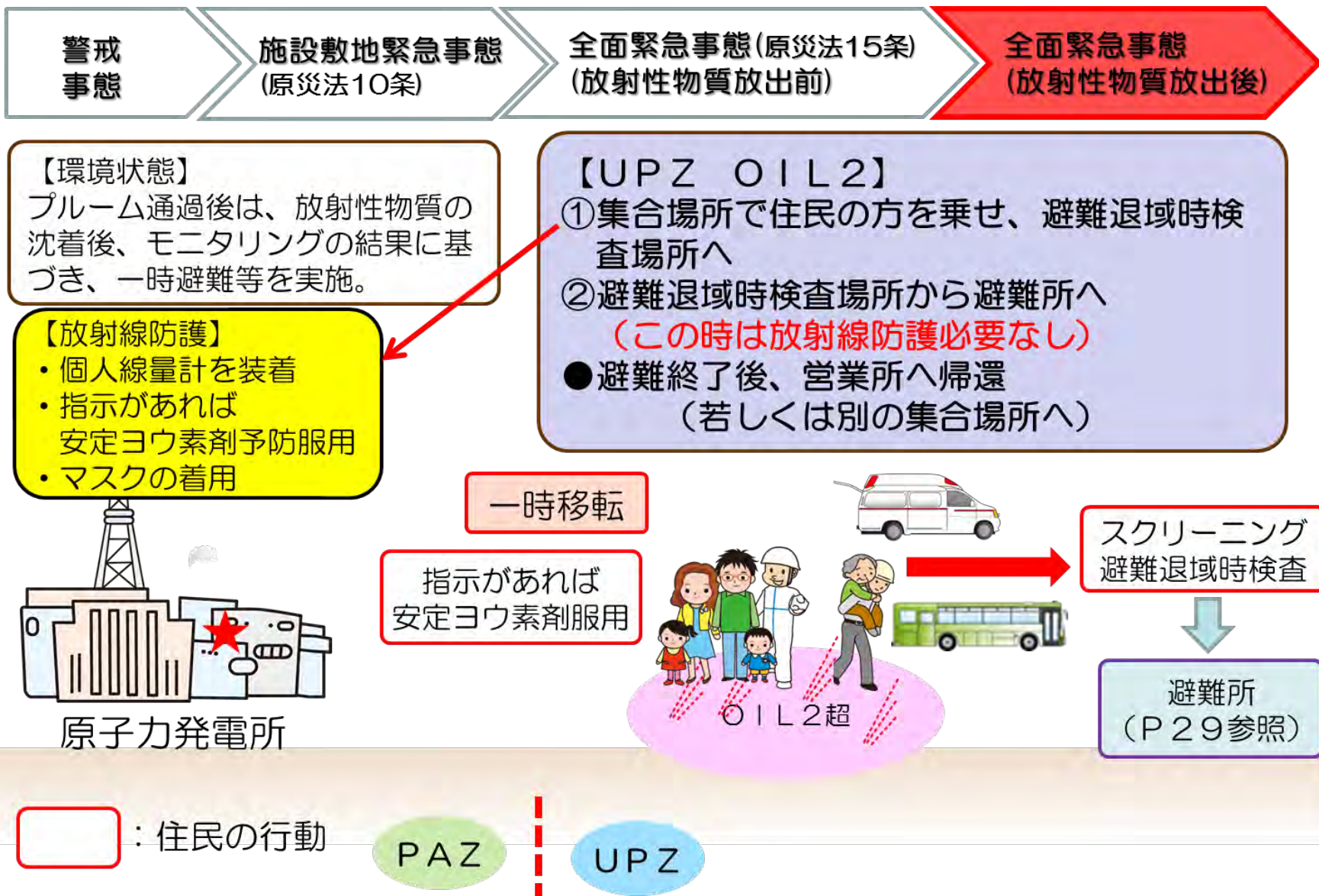


(参考2) バス等運転業務者研修の概要

(研修資料より抜粋)



概要

放射線関係実習の概要

30人を3班に分けて、班ごとに下記テーマの実習を行う。

- ① 自然の放射性物質の測定（GM式汚染サーベイメータを使用）
（放射線、放射性物質は身近にもあることを認識する）
- ② 防護具の着脱実演、個人測定器の取り扱い
（マスク、タイベック、ゴム手、タイベック、クツカバー）
- ③ 放射線の距離及びしゃへい効果の確認
（NaIシンチレーション式サーベイメータを使用）

時間配分、班編成

- 1テーマ15分程度で検討する。
（移動等を含め、45分）
- 1班：10名、各班に実習指導員を1～2名配置。

① 自然の放射性物質の測定実習



マントル、
Tig溶接棒、
カリ肥料
等

② 防護具の着脱訓練



- 放射性物質防護機材の着脱実演（簡易マスク、タイベック、ゴム手袋、靴カバー）
- パンク等でバスの外に出たときに着用すると説明。
- マスクは、風邪などの時に使用する簡易マスク

③ 個人測定器の取り扱い実習

- 個人線量計は、重要なため、原則、県が運転業務者のために購入したものを使用。



④放射線の距離及びしゃへい効果の確認

